

令和 5 年度決算 9 議案を認定

実質収支額は
9,926 万 7 千円の黒字

議案第 55 号 令和 5 年度加西市一般会計
の決算認定について

質 疑

人口減少対策

問 人口減少対策事業の成果をどのように分析されているのか。

答 子育て応援 5 つの無料化をはじめ全国でもトップクラスの子育て支援策だと自負しています。合計特殊出生率は令和 4 年度より若干改善して 1.12 となったものの、出生数は減少して 179 人でした。一方、社会増減は令和 4 年度は 48 人増、令和 5 年度は 139 人増となり、一定の効果が出ていると認識しています。

問 人口減少対策を強化していくために、各事業の成果の分析に当たって市役所全体で連携する必要があるのでは。

答 加西市子ども・子育て支援事業計画の策定に当たって教育委員会が行ったアンケートでは、就学前の子供の親の 46%が、5 つの無料化が子供をもう一人持ちたいというきっかけになると回答し、62%が加西市に住み続けたいというきっかけになると回答しています。また、市役所内のプロジェクトチームにおいて、少子化に対する新たな施策を検討をしている状況です。

出逢いサポートセンター

問 事業の現状と成果について。

答 結婚観の多様化等を背景に、登録者数や成婚者数は低調となっています。令和 5 年度から民間の結婚相談事業所の協力により、オンラインの活用やセンター開設場所の変更、サポーター研修の充実などに努めています。LINE による利用登録を始めて以降、新規登録者が増加しています。オンラインでのお見合いにも取り組み、より利用しやすい体制を構築しているところです。



移住定住施策

問 移住定住施策の効果は。また、転入理由等についてアンケートは実施しているのか。

答 令和 5 年度に補助金や移住定住制度を利用して転入された方は 238 人です。転入理由等に関するアンケートは令和 4 年度に実施していますが、毎年度継続して行っているものではありません。移住者の考えなどを理解して施策に生かすため、アンケートの実施を検討します。



電子母子手帳

問 令和 5 年 10 月に導入された電子母子手帳の利用状況と今後の取組について。

答 令和 5 年度末の利用登録者は 353 人、登録児は 407 人です。親と子の健康づくりカレンダーを利用した妊娠時からの PR と併せ、健幸ポイント事業の対象としたことにより、利用者数は順調に伸びています。令和 6 年 11 月から電子母子手帳を利用した相談を行う予定としており、タイムリーに相談できる環境を整えます。



学校体育館エアコン整備

問 各学校体育館へのエアコン整備計画について。

答 今後、学校の統廃合に合わせて順次整備する予定です。泉小学校は来年度に設置し、令和 8 年度から供用開始です。下里小学校は令和 9 年度に設置し、10 年度から供用開始、また、九会小学校は 11 年度に設置し、12 年度からの供用開始の予定です。

公共交通活性化協議会

問 加西市公共交通活性化協議会補助金 2,234 万 9,000 円の内訳は。

答 協議会の事業実施のため、事務費 19 万円に加え、事業費 2,215 万 9,000 円を補助しています。事業費の内訳は、地域主体型交通の運営補助金 968 万円、総合時刻表「かさいおでかけナビ」の更新 186 万円、公共交通総合ホームページ「NAVIGO かさい」の制作費の令和 5 年度分 415 万円などとなっています。



問 地域主体型交通が運行されている 3 地域以外で、導入を検討されているところはあるのか。

答 在田地区の在田あいあいまちづくり協議会においてボランティア輸送の導入を検討されており、年内の試験運行に向けた調整が行われています。



うにバス



ひよタク



とみバス